

自主
錬磨
協調

灯台



学校だより 9月号

今年元月9月25日発行
〒896-1201 薩摩川内市上甕町中甕 191-1

薩摩川内市立上甕中学校
TEL:09969-2-0014 FAX:09969-2-0041



～2020年度東京五輪日本代表選考レースより教育を考える～
校長 鬼塚富貴子

2020年、待望の東京オリンピックが開催されます。自国開催としては、まさに56年ぶりになります。その中で、今月15日、選考基準に課題のあった男女マラソン大会がほぼ一発勝負（上位2位までが五輪代表）に近い方式で行われました。

しかし、選手の立場になって考えてみると、ほぼ五輪代表が決定する大会のため、大会当日を心身共に最高のコンディションで迎え、最善の環境で戦える環境整備（服装、飲み物、作戦・調整など）に向けての選手とそのスタッフ（チーム）の計り知れない研究と努力を想像してみました。特に男子マラソンは、日本記録保持経験の選手（設楽悠太選手、大迫傑選手）や国内の大会優勝者の選手の集まりであり、近年まれに見る出来高レースの大会として、大変注目されていました。

結果は、優勝富士通中村匠吾選手、2位はトヨタ自動車服部勇馬選手でした。両選手には東京五輪代表が約束されました。

私は、本大会を通して、次の3点を学校教育で取り入れたいと考えました。学校教育活動での諸検査や諸活動において、

- 1 結果を出す＝様々な情報収集と組織による知・徳・体の育成
- 2 勝負は最後までわからない＝状況判断と即実行できる生徒個々に応じた心技体の育成
- 3 作戦＝生徒・保護者又は教諭の信念とその人の生き様の尊重などです。

今後とも、中学校への御理解と御協力をお願いいたします。

サマーボランティア参加～里保育園

夏休み、3名の生徒（1年：濱邊心乃 2年：中間絵恋 3年：濱邊香乃）が里保育園にてボランティア活動を行いました。そこで、3年濱邊香乃さんの感想を一部紹介します。

「最初は恥ずかしがっていた子供も徐々に慣れ、近づいてきてくれてとてもうれしかったです。また、子供達のペースに合わせての会話に心がけました。私は、将来、保育士をめざしているため、先生達から多くの事を学ぶことができました。今回のボランティア活動はこれからの進路に活かしていきたいです。」

*お世話になりました里保育園の皆様へ心より感謝申し上げます。

幼小中運動会に向けて陸上教室開催（薩摩川内元気塾）

9月14日（土）、NPO法人SCC（陸上教室）理事長の太田敬介氏による陸上教室を開きました。

運動会前であり、小中学生の意識は高く、意欲的に取り組んでいました。学習内容はスタートの仕方（スタートダッシュ）とバトンパス（バトンの持ち方・テークオーバーゾーン）のルールに絞りました。



（開講式の様子）



（太田先生の指導）



（動き作り）



（バトンパスの指導）



（バトンパスの実際）



（御礼の言葉）

陸上教室後の3年西愛麗さんの感想を一部紹介します。

「陸上教室では、普段教えてもらうことができないことをたくさん教えてもらうことができ、貴重な体験になりました。今回、教えてもらったことを運動会などに活かしていきたいです。」

*運動会に向けて、陸上競技（短距離走・リレー）の楽しさを知る絶好の機会となりました。9月29日の幼小中合同大運動会の園児・児童・生徒の活躍をどうぞ御期待ください。

2学期が始まりました

8月の出校日を活用し、校長先生から課題が出されていました。その課題とは、「自分の強みは何か。そして、その強みを学校生活の中でどのような場面で発揮できるか」というものでした。

始業式当日、生徒と職員を代表し、小山田教頭に自身の強みを発表してもらいました。ぜひ、御家庭でも我が子の強みについて話題にしてほしいと思います。

*自己の強みに気付かせることで、自己肯定感に生徒自ら取り組ませたいと考えています。



ほぼ暗記していました。発表者のやる気が伝わりました。



2学期の具体的な活動がよく伝わりました。



最上級生としての学校行事への思いと進路への取組がよく伝わりました。

【生徒代表2学期の決意】

表彰関係

※ 県防犯協会
（標語の部）

銅賞：脇田紗羽さん

※ 剣道昇段審査合格

初段：石原風陽さん 脇田紗羽さん

2段～中尾 歩さん

*練習の成果です。おめでとう!!



給食試食会開催

9月5日に給食試食会が開催され、9名の保護者が参加しました。校長より、日本人のマナー3点「はしの持ち方」「食べる姿勢」「三角食べ」を意識した学校と家庭との連携についての話がありました。



小中合同学校保健委員会開催：情報教育大人編

給食試食会後に、学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会では、講師にeーネットキャラバン委託として(有)ダイロクノ社長の岡山幸祐氏を招聘しインターネットの使い方・怖さ及びスマホ等、情報教育について学びました。

情報教育については、保護者からも「学びたい」という希望が多く、実現した会でした。本年度で5回目になりますが大人も情報教育の学習を積み重ねているところです。



我が子を犯罪から守るために、真剣に指導者の話を聞く小学校・中学校の保護者。

情報教育生徒編

情報教育大人編の後、同指導者による生徒編を実施しました。学習内容は、現在問題になっているSNSにまつわる話とその対応の仕方・使い方に絞りました。学習では、生徒同士による危険防止策として、「スマホを使う時間を決める」「お金を使う場合は、保護者の了解を得る」等の発表があり、とても有意義な時間となりました。



【指導者による説明と生徒による話し合い活動・意見交換】

離島甲子園参加～対馬市にて

8月下旬の離島甲子園に本校から4名の生徒が参加しました。甕島のチームは上甕と下甕の生徒から成り立っています。そこで、定期的に、上甕島と下甕島の生徒が里中に集まり、練習に励んできました。試合は、1回戦敗退でしたが生徒達にとっては貴重な体験になったようです。生徒の感想を一部紹介します。

(3年：中尾歩さん)

「今年は最上級生としてチームをひっぱり一生懸命練習に取り組むことができました。また、離島甲子園を通して、たくさんの友達ができたと、いつかこの仲間と達えたら良いと思います。今年の離島選抜は途中人数が減り、ポジション的に苦労はしましたが、練習を重ねるうちに少しずつ上手になっていきました。本番では、練習以上の成果を出すことができ、また、チームの気持ちも一丸となりました。試合は、負けてしまいましたが自分達にとっては、練習の成果が出た試合になったと思います。また、他チームの試合を見て学ぶことがたくさんあったので、この大会を通して学んだことを、今後の生活に生かしていきたいです。」

(2年：中間絵恋さん)

「私は2度目の離島甲子園に出場して昨年より成長しているな、と思いました。それは、守備ではたまにミスはするけれど取れる回数が多くなったと感じたからです。また、バッティングでは、フライではなくゴロを打つことができました。他チームとの交流では、昨年会った人と再会することができ話が盛り上がりました。さらに、新しい友達も作ることができ、本当に良かったです。今後も、この大会を通して学んだことを学校生活に生かして生きたいです。」

*1年生の生徒2人(梶原菜乃葉さん、濱邊心乃さん)も中尾歩さん、中間絵恋さん同様、多くのことを学んだようです。

この離島甲子園については、選手のみならず、指導者・保護者・運営関係者等の多くの支えがあってこそ参加できる大会です。関係者の皆様方に心から感謝いたします。ありがとうございました。

なお、次年度の離島甲子園は、二十四の瞳で有名な香川県の小豆島での開催です。ぜひ、上甕と下甕の中学生は甕島選抜チームとして出場できる大会ですので、離島甲子園への出場を通して、友人の輪を広げ、さらに、開催地(離島)の良さ(自然・地域の特産物)を実感してほしいと思います。頑張れ甕島選抜チーム!! 頑張れ上中生徒!!

～自立に向けて～栄養教諭の授業

9月3日、「自立に向けて」をテーマに栄養教諭の伊豫田先生による学習を行いました。授業は、宮野教諭とT.T方式で行われました。

学習内容は、「今現在の食生活を確認し、今後どのような見直しが必要か。」をテーマに考えていきました。

生徒は、自分の事として真剣に取り組んでいました。



【生徒たちによる話し合い活動】

10月の行事予定

- 3日(木) 使用済み切手収集
- 6日(日) 町民運動会
- 10日(木) 地区新人大会(卓球・剣道)
- 11日(金) 地区新人大会(卓球)
- 12日(土) 土曜授業
- 13日(日) 市民運動会
- 15日(火) 16日(水) 中間テスト
- 24日(木) 海風会議
- 27日(日) 文化祭
- 30日(水) 一日遠足(下甕)
- 31日(木) 薬物乱用防止教室

◎中間テストへの早め早めの対策。
◎目標点数の設定。◎ライバルは自分!!

※ 秋の季節は、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」ともいわれます。勉強と体力向上(運動)の両立に努めてください。

「生徒が元気！先生が元気！保護者が、地域が元気！上中から元気を発信！」 上甕中学校キャッチフレーズ